

## 《第 50 号》「Think Global Act Locally」

善財 裕美(台東リサイクルネットワーク代表)

私が環境問題に興味を持ったのは巷に溢れかえるごみを見てからです。何故こんなにゴミが多いのか？ まだ使いそうなのに捨ててしまうのは何故？ どうしてもっとものを大切に使わないの？ 高度経済成長の煽りで消費は美德などという嫌な言葉がさも正しいことのように宣伝されていた時代でした。自分たちの都合の良い温度で暮らす機械をつくり出し、いつでも何処でも年中同じものを食べるための技術、作る手間を省く食品を開発してきました。それらを維持するために必要な莫大なエネルギーを生み出してくれる装置として原子力発電があったのです。

環境問題を考えて活動する中で言われ続けている言葉に「Think Global Act Locally」があります。気候変動が人為的原因と確認され、環境問題に関する情報も既に行き渡っているように思えるのですが、まだまだ環境に配慮した行動に移す人が多くないのが現状です。これは Think Global の視点が欠けているからではないでしょうか。

私たちに様々な恵みを届けてくれる地球。地球上に今生きているもの、これから生まれるもの、そして地球全体を考えることが必要なのです。

今年、台風の発生が 30 を超え、100m を超える瞬間最大風速が記録され、被害も大変大きかったです。変化は徐々に起きていますがそれが日常になり気付かずにいると、人知では対応しきれない自然現象が次々と起きてきます。

安全だと言われ続けた原子力発電所事故により地球を汚染し、人々を苦しめ続けています。復旧可能な災害と不可能に近い災害、どちらも私たち人間の行動に起因していることを肝に銘じましょう。解決するための特効薬はありません。Act Locally を続けていくことが最良の解決策なのです。

皆さんも是非一緒に「Think Global Act Locally」を!!

以上